



第**68**期報告書 (平成25年4月1日から平成26年3月31日まで)

RIX リックス株式会社 (証券コード 7525)





株主の皆様へ



代表取締役社長
松浦賢治

「メーカー商社」として 世界の産業界に貢献します

ごあいさつ

株主の皆様には、ますますご清栄のこととご拝察申し上げます。

平素は格別のご高配を賜り厚くお礼申し上げます。

さて当社第68期(平成25年4月1日から平成26年3月31日まで)における業績のとりまとめを終えましたので、ここに第68期報告書をお届けします。

株主の皆様におかれましては、今後とも一層のご支援を賜りますようお願い申し上げます。

Corporate Identity

培われた伝統のもとに、さらに未来への飛躍を図るというイメージを表現しています。



R 自社ブランド「ROCKY」の頭文字

I INDUSTRY(工業/産業)の頭文字

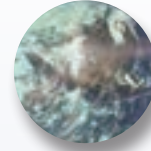
X 無限の可能性と将来性

リックスの青色

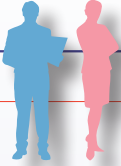
信頼を表すブルー


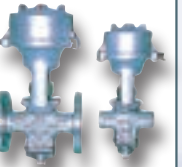
リックスの赤色

躍動感あふれるレッド



事業紹介



商品	
<p>圧力発生機</p>  <p>プランジャーポンプ 高圧水の発生源となるポンプ 高圧水洗浄装置の動力源として利用</p>	<p>応用機器・システム商品</p> <p>多用途の高圧水洗浄機 (ロッキーワッシャー)</p>  <p>金属接合機 (TOX) 異種金属板を接合する機械</p>
<p>付属機器・部品</p>  <p>オイルシール類 高圧の水・油を密封し外に漏れないようにする 外部からダストが侵入するのを防ぐ</p>	<p>関連技術商品</p>  <p>三方ピストン弁 (ロッキーバルブ) 高圧のガス等の流量を調整する弁 主にタイヤメーカーの加硫機に使用</p>

製品	
<p>応用機器・システム製品</p> <p>フラックス精密洗浄装置 半導体新製品 (CSP, BGA等) の製造工程に使用されるフラ ックスを除去し、純水にて精 密仕上げ洗浄を行う装置</p>  <p>NC高圧洗浄機 (ジェットフレックス) 自動車業界向けの、高圧 水を利用した部品の深穴 の金属バリ取装置</p> 	
<p>付属機器・部品</p> <p>クリーンルーム対応 ロータリージョイント 半導体業界で、CMP設備な どに水や研磨剤などを供給 する回転継手</p>  <p>工作機械用 ロータリージョイント マシニングセンタでク ーラント液をスピンド ルから噴射する用途に 使用する回転継手</p> 	

営業区分

リックスはお客様のニーズ
に迅速・的確に対応できる
顧客密着型の「メーカー商
社」という業態です。

鉄鋼

自動車

電子・半導体

ゴム・タイヤ

高機能材

環境

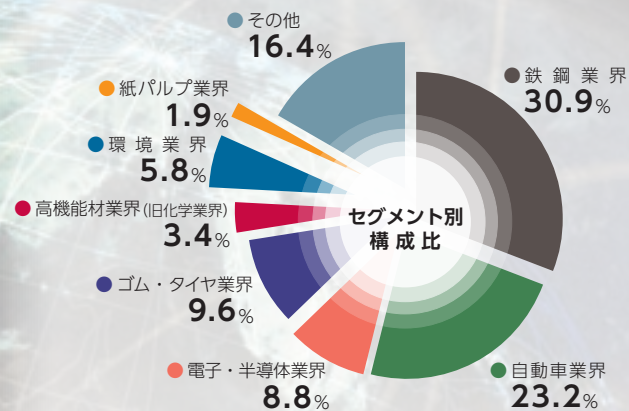
紙パルプ

その他

商社機能

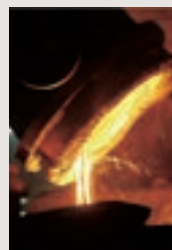
メーカー機能

セグメント別事業の概況



鉄鋼業界

売上高
90億32百万円
(前期比5.8%減)



鉄鋼業界では、東日本大震災の復興需要や消費税増税前の住宅・自動車の駆け込み需要などを背景に鋼材需要が高まり、日本の粗鋼生産量は前期比3.9%増となりました。また、世界全体の粗鋼生産量は、高水準の生産が続く中国による押し上げ効果が大きく、増加傾向をたどりました。

当社グループにおきましては、設備の部品交換・補修需要を取り込み、シール類や給油・給脂装置、軸受の再生などが伸長しました。また、製鋼副資材は加炭材が好調だったものの、土壌黒鉛や脱リン剤などは振るいませんでした。その他、前期に好調だった韓国の製鉄所向け設備投資案件は、同国の粗鋼生産量が落ち込んでいる状況を反映し、当期はほとんど受注に至りませんでした。

この結果、鉄鋼業界向け全体としての売上高は90億32百万円(前期比5.8%減)となりました。

自動車業界

売上高
67億74百万円
(前期比10.4%増)



自動車業界では、国内においては年度後半にかけて消費税増税前の駆け込み需要が発生し、自動車生産・販売とも好調でした。また、海外においては外交問題の沈静化により中国で販売が回復し、北米も堅調に推移しましたが、現地生産・現地販売の傾向が一段と強まり、日本からの輸出は前期比0.6%減となりました。一方、工作機械受注は内需が好調に推移し、外需も北米向けが好調で過去最高額を記録、欧州向けは2期ぶりに増加して回復基調を鮮明にしました。中国向けは、前期比マイナスだったものの、当期末にかけて回復の兆しがみられました。

当社グループにおきましては、設備の部品交換・更新需要の取り込みを力を入れ、渦巻きポンプの本体および部品が伸長しました。また、海外工場向け設備投資の動きを捉え、洗浄装置の受注を獲得したことが売上増に寄与しました。

この結果、自動車業界向け全体としての売上高は67億74百万円(前期比10.4%増)となりました。

電子・半導体業界

売上高
25億75百万円
(前期比5.1%増)



電子・半導体業界では、平成25年(暦年)の半導体世界売上が過去最高を更新しました。一方、半導体製造装置販売額は地域格差がみられ、中国・台湾が伸びている反面、韓国や北米はダウンしており、日本はほぼ横ばいという結果でした。

当社グループにおきましては、部品交換や修理再生提案に注力した結果、フィルター類の受注が増え、真空ポンプなどの修理・オーバーホール需要を取り込むことができました。また、半導体向け超音波探傷装置の受注も売上増に貢献しました。

この結果、電子・半導体業界向け全体としての売上高は25億75百万円(前期比5.1%増)となりました。

ゴム・タイヤ業界

売上高
28億18百万円
(前期比16.4%増)



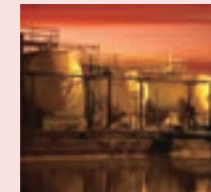
ゴム・タイヤ業界では、国内自動車生産の好調を反映し、自動車用タイヤの国内生産・出荷とも前期を上回りました。一方で、円高是正が進んだにもかかわらず輸出出荷は前期を下回り、現地生産・現地販売が進んでいることが窺われます。

当社グループにおきましては、設備の更新需要と海外工場向け設備投資案件の受注獲得に努めた結果、タイヤ加硫機用機器や高圧洗浄機、断熱板などが伸長しました。

この結果、ゴム・タイヤ業界向け全体としての売上高は28億18百万円(前期比16.4%増)となりました。

高機能材業界(旧化学業界)

売上高
10億4百万円
(前期比0.8%増)



高機能材業界では、国内外を問わず買取・売却を含めた事業再編や生産設備再編が進みました。また、再編を通じて収益力強化に取り組む一方で、新たな収益の柱となる事業への積極的な取組みもみられ、炭素繊維複合材料など今後成長が見込まれる分野への投資が活発化しています。

当社グループにおきましては、設備の更新需要を取り込み、高圧洗浄機やラインミキサーの販売が好調でした。

また遠赤外線ヒーターや耐摩耗プレートといった省エネ・高効率・長寿命に繋がる商材も売上増に貢献しました。

この結果、高機能材業界向け全体としての売上高は10億4百万円(前期比0.8%増)となりました。

環境業界

売上高
17億8百万円
(前期比21.6%増)



水処理施設向け更新需要を取り込み、ボールジョイントや水処理膜の販売が好調だったほか、廃棄物処理工場向け破砕機なども売上増に貢献しました。

この結果、環境業界向け全体としての売上高は17億8百万円(前期比21.6%増)となりました。

紙パルプ業界

売上高
5億62百万円
(前期比5.1%減)

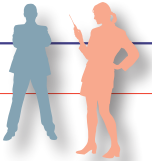


シール等の消耗品は堅調でしたが、製紙会社が各社とも設備投資を控える状況が続いたため引合いが少なく、前期に比べペロワや回転継手、熱交換器などの販売が振るいませんでした。

この結果、紙パルプ業界向け全体としての売上高は5億62百万円(前期比5.1%減)となりました。



連結財務諸表



■ 連結貸借対照表

単位：百万円

科目	前期	当期	科目	前期	当期
	(平成25年3月31日現在)	(平成26年3月31日現在)		(平成25年3月31日現在)	(平成26年3月31日現在)
資産の部			負債の部		
流動資産	14,711	15,670	流動負債	10,008	10,338
固定資産	5,361	5,926	固定負債	954	1,044
有形固定資産	1,956	1,920	負債合計	10,962	11,382
無形固定資産	82	80	純資産の部		
投資その他の資産	3,322	3,924	株主資本	8,505	9,225
資産合計	20,072	21,597	資本金	827	827
			資本剰余金	683	683
			利益剰余金	7,116	7,836
			自己株式	△122	△122
			その他の包括利益累計額	200	526
			少数株主持分	403	462
			純資産合計	9,109	10,214
			負債・純資産合計	20,072	21,597

■ 連結損益計算書

単位：百万円

科目	前期	当期
	(平成24年4月1日から平成25年3月31日まで)	(平成25年4月1日から平成26年3月31日まで)
売上高	27,989	29,273
売上原価	22,448	23,431
売上総利益	5,540	5,841
販売費及び一般管理費	4,414	4,612
営業利益	1,125	1,229
営業外収益	163	230
営業外費用	13	15
経常利益	1,276	1,444
特別利益	49	11
特別損失	34	6
税金等調整前当期純利益	1,291	1,449
法人税等	519	627
少数株主損益調整前当期純利益	771	821
少数株主利益	25	32
当期純利益	745	788

■ 連結包括利益計算書

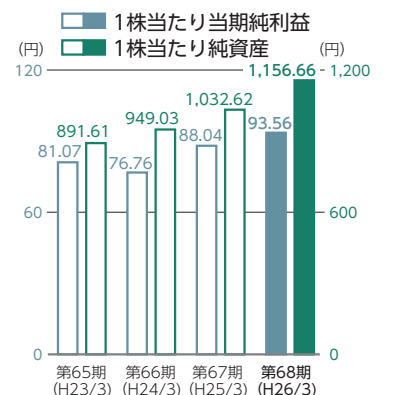
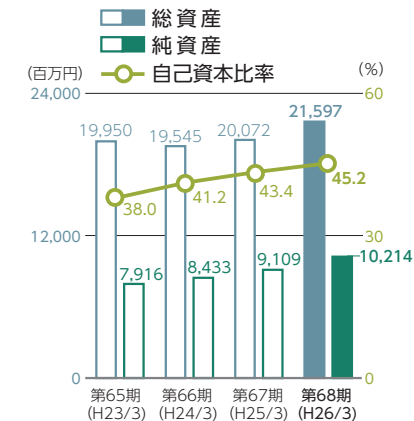
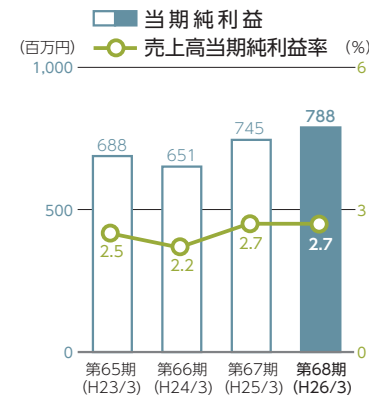
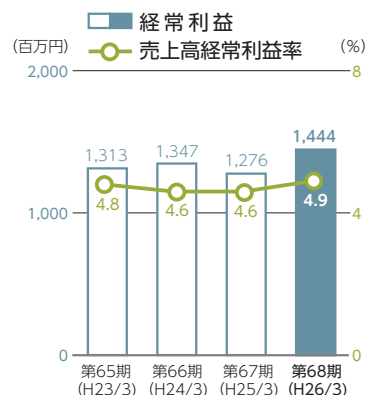
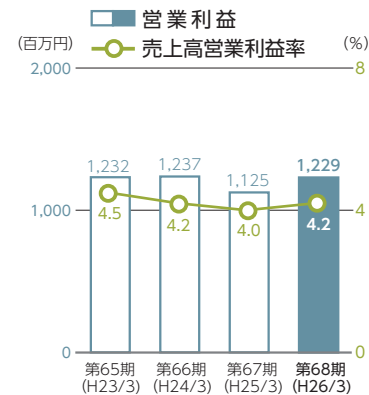
単位：百万円

科目	前期	当期
	(平成24年4月1日から平成25年3月31日まで)	(平成25年4月1日から平成26年3月31日まで)
少数株主損益調整前当期純利益	771	821
その他の包括利益	116	354
その他有価証券評価差額金	85	260
為替換算調整勘定	28	93
持分法適用会社に対する持分相当額	3	△0
包括利益	888	1,175
(内 訳)		
親会社株主に係る包括利益	852	1,109
少数株主に係る包括利益	35	65

■ 連結キャッシュ・フロー計算書

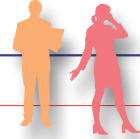
単位：百万円

科目	前期	当期
	(平成24年4月1日から平成25年3月31日まで)	(平成25年4月1日から平成26年3月31日まで)
営業活動によるキャッシュ・フロー	255	1,238
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,071	△683
財務活動によるキャッシュ・フロー	882	△1,169
現金及び現金同等物に係る換算差額	25	44
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	91	△568
現金及び現金同等物の期首残高	2,196	2,288
新規連結に伴う現金及び現金同等物の増加額	-	101
現金及び現金同等物の期末残高	2,288	1,821





戦略ビジョン2014の推進



わが国の経済はいまだ本格的な回復までに至らず、先行き不透明な状況にあります。また、当社グループの業績は国内製造業の設備投資ならびに生産活動に大きく依存しておりますが、今後、国内製造業の海外生産移管あるいは少子高齢化の進展により、国内市場が縮小することが危惧されます。

当社グループでは、このような状況下にあっても、継続

的・安定的な収益を生むための基盤づくりを行うため平成24年度から平成26年度までを対象として、中期3ヵ年計画「戦略ビジョン2014」を策定いたしました。

この新戦略ビジョンの下、各施策に邁進し、リックグループは、お客様の課題をより専門的な立場から解決する顧客密着型メーカー商社として、世界の産業界への貢献を果たしてまいります。

危機対応3ヵ年計画

平成21年度～平成23年度

- 世界経済危機後に起こる事業環境の変化を予測した対応を重点的に推進目標とする「経常利益10億円(連結)」を1年前倒しで達成

戦略ビジョン2014

平成24年度～平成26年度

戦略ビジョン2014

(平成24年度～平成26年度)

ビジョン

リックスは、メーカー商社のビジネスモデルをつねに進化させ、高い営業力、高い技術力、高い商品・事業開発力を持つ、付加価値の高いニッチャーになる。

経営目標

経常利益15億円(連結)の達成

事業方針

1 高付加価値化ビジネスモデルの変革

- 1) 営業プロセス改革の継続と生産・技術開発プロセス改革の導入
- 2) 新事業開発の推進
- 3) 新商品・新市場開発の推進

2 海外事業展開の促進

- 1) アジア、特に中国での事業展開の加速
- 2) その他地域への展開検討

3 人と組織の能力向上

- 1) 課題解決型人材(目利き)の継続的な育成と活用
- 2) 幹部候補の計画的な育成
- 3) 組織間連携を司る人材の育成と活用
- 4) 収益の源泉となる活動を支える人材の育成
- 5) 上記1～4の実現に向けて計画的なジョブローテーションを実行する

4 収益の源泉となる活動の強化

トピックス

シリーズ製品紹介

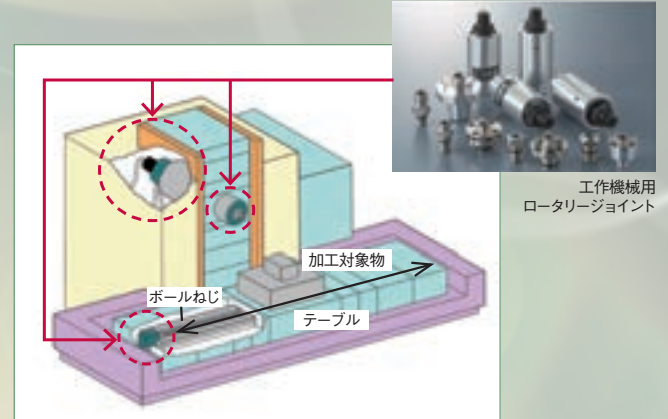
リックスの製品はこんなところで使われています…

工作機械用ロータリージョイント

工作機械のスピンドル(回転軸)が、1分間に数千から数万回転の速さで回転し先端の刃物によって金属が削られるとき、切削部分に高い熱が発生します。

高速回転するドリルやチャックの先端の穴からは、クーラント液(水溶性切削液)が噴射されるようになっていて、切削部分を冷却します。

リックスの工作機械用ロータリージョイントは、工作機械のなかで、固定構造部分から回転体構造部分につながる流体経路を形成し、ドリルやチャックの先端までクーラント液を供給する役目を果たしています。



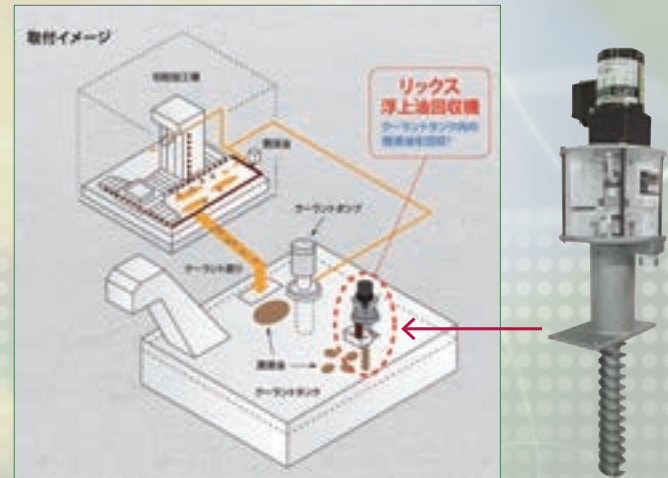
工作機械用ロータリージョイント

スクリー式・スパイラル式浮上油回収機

噴射されたクーラント液は、切削熱を取り去り、金属くず・切削油を押し流して一箇所のタンクへ集まります。

やがて、クーラント液中に浮遊していた金属くずはタンクの底に沈殿し、混入した切削油や潤滑油は表面に浮いて廃油となります。

リックスのスクリー式・スパイラル式浮上油回収機は、表面に浮いた廃油のみを回収して、クーラント液の清浄度をより長く保つ役目を果たしています。



製品イメージ

リックス 浮上油回収機

リックス製品は、高速化・高精度化する加工現場(自動車部品製造)の要求に応えていきます



リックグループネットワーク

海外ネットワーク (平成26年3月31日現在)

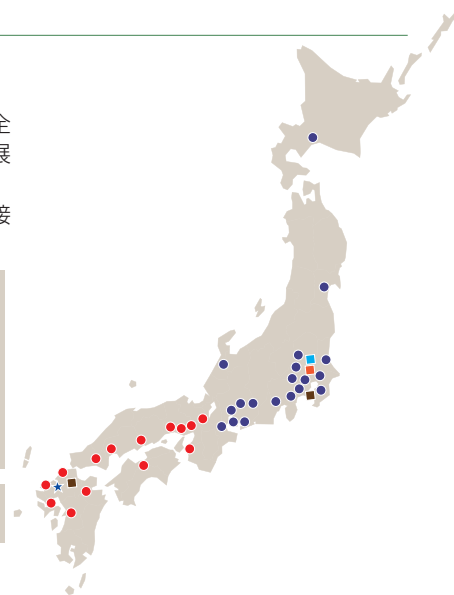
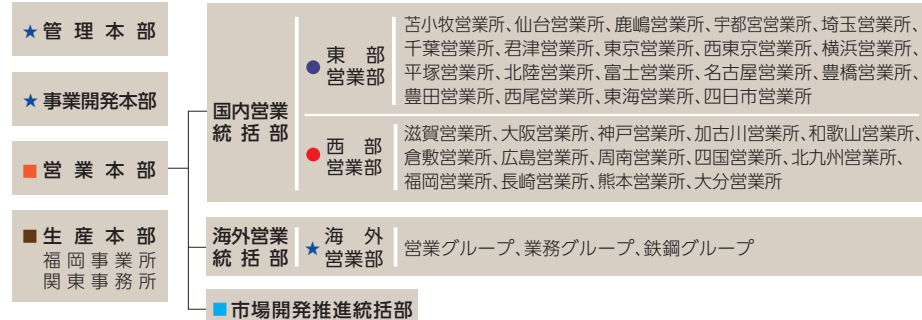


事業所 (平成26年3月31日現在)

信頼と情報を支えるネットワーク網

先進技術、膨大なノウハウ、鋭敏な感性、そしてサービスも含めた高信頼性。これらは、全国に張り巡らされたネットワークをベースに、きめ細かなコンサルティング・セールスを展開することによって獲得してきました。

ユーザーとともに歩むメーカー商社リックスは、なによりもお客様との質の高い、多くの接点を大切にしています。



会社情報 / 株式情報

会社概要 (平成26年3月31日現在)

- 商号 リックス株式会社
- 英文社名 RIX CORPORATION
- 創業 明治40年(1907年)10月
- 設立 昭和39年(1964年)5月1日
- 資本金 8億2,790万円
- 従業員 332名(連結533名)
- 主要な事業内容 高圧液圧応用機器、精密計測・検査機器等の製造販売

取締役および監査役 (平成26年6月26日現在)

代表取締役社長 松浦 賢治	取締役 橋本 忠 (新任)
取締役 荻田 透	取締役 安井 卓 (新任)
取締役 柿森 英明	常勤監査役 大曲 宣彦
取締役 芹川 康介	監査役 小西 正純(*)
取締役 川久保 昇	監査役 武藤 靖(*)

(*)社外監査役

株式の状況 (平成26年3月31日現在)

- 発行可能株式総数 27,600,000株
- 発行済株式の総数 8,640,000株
- 株主数 8,781名

大株主 (上位10名)

株主名	持株数(千株)	持株比率(%)
NOK株式会社	1,167	13.83
リック取引先持株会	532	6.31
安井玄一郎	470	5.57
株式会社西日本シティ銀行	382	4.53
リック従業員持株会	370	4.39
安井龍之助	242	2.87
株式会社サニックス	240	2.84
山田貴広	175	2.07
園田和佳子	174	2.07
株式会社三菱東京UFJ銀行	152	1.80

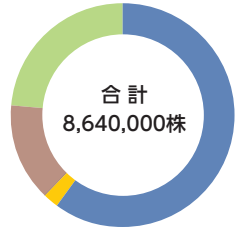
注) 1. 持株比率は自己株式を控除して計算しております。
2. 上記大株主のほか、当社は自己株式197千株を保有しております。



株式分布状況

所有者別株式分布状況

- 個人・その他 60.04%
- 自己株式 2.28%
- 外国法人等 0.09%
- 金融商品取引業者 0.01%
- 金融機関 14.01%
- その他の法人 23.57%

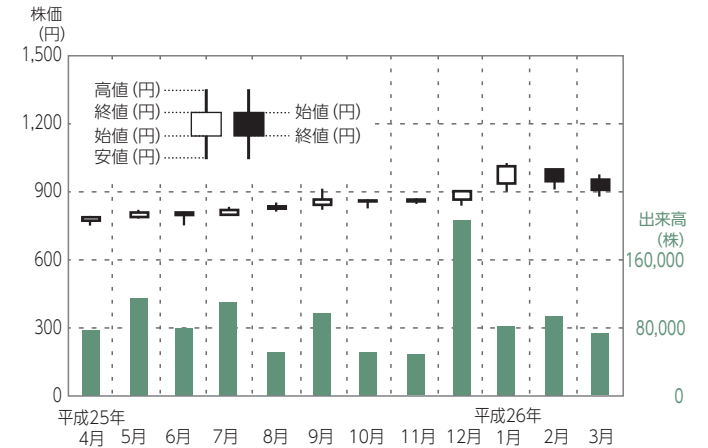


所有株数別株式分布状況

- 10単元未満 10.75%
- 10単元以上 4.25%
- 50単元以上 3.44%
- 100単元以上 17.82%
- 500単元以上 10.84%
- 1,000単元以上 33.22%
- 5,000単元以上 19.68%



株価および株式売買高の推移



株主メモ

■ 事業年度	4月1日から翌年3月31日まで
■ 定時株主総会	毎年6月
■ 配当金受領 株主確定日	期末配当金 3月31日 中間配当金 9月30日
■ 株主名簿管理人 および特別口座の 口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社
■ 株式に関する各種手続の申込先について	・住所変更、単元未満株式の買取請求、買増請求、配当金受取方法の指定等は、お取引口座のある証券会社に申し出てください。 ただし、特別口座に登録された株式に係る各種手続につきましては、三菱UFJ信託銀行株式会社に申し出てください。 ・未払配当金のお支払いにつきましては、三菱UFJ信託銀行株式会社に申し出てください。
■ 同連絡先	東京都江東区東砂七丁目10番11号 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 ☎ 0120-232-711 (通話料無料)
■ 公告方法	電子公告により行います。 公告掲載 URL http://www.rix.co.jp/ ただし、電子公告によることができない事故、その他のやむを得ない事由が生じたときは、日本経済新聞に公告します。
■ 単元株式数	100株
■ 上場証券取引所	東京証券取引所市場第二部 福岡証券取引所

株主優待制度のご案内

株主の皆様の日頃のご支援にお応えするとともに当社株式への投資の魅力を高めていただくため、株主優待制度を実施しています。



- 割当基準日
3月31日ならびに9月30日

- 優待内容
 - ・100株以上1,000株未満所有の株主様
▶ クオカード1,000円分
 - ・1,000株以上10,000株未満所有の株主様
▶ クオカード2,000円分
 - ・10,000株以上所有の株主様
▶ クオカード5,000円分

当社ウェブサイトのIR情報のページに決算情報など最新の情報を配信しております。ぜひご活用ください。

<http://www.rix.co.jp/>

リックス株式会社

検索

The screenshot shows the RIX website homepage. At the top, there is a navigation bar with links for 'ホーム', '製品情報', '導入事例', 'イノベーション', and 'お問い合わせ'. The main content area features a large banner for the '超音速ジェット湿式微粒化装置『G-smasher』' (Ultra-sonic Jet Wet Particle Size Reduction Device 'G-smasher'). The banner includes the text '分粒二刀流 エアジェットで面式分粒' (Two-stage particle size reduction: Air jet surface particle size reduction) and 'やわらかい粒子はそのまま集積し、ハードな粒子は1層から取り出す' (Soft particles are collected as is, and hard particles are removed from one layer). To the right of the banner is an image of the G-smasher machine. Below the banner, there are two columns of smaller images and text, likely representing various products or services offered by RIX.

RIX リックス株式会社

〒812-8672

福岡市博多区山王一丁目15番15号

TEL (092) 472-7311

UD FONT

見やすく読みまちがえにくいユニバーサル
デザインフォントを採用しています。